

第23回敦賀市フットサルフェスティバル

【中学・高校の部】

令和2年2月8日（土）

栗野スポーツセンター

主 催 敦賀市サッカー協会

共 催 福井新聞社

後 援 嶺南ケーブルネットワーク（株）

【大会役員】

- ・大会会長 神谷 敬一郎
- ・大会副会長 鳥居 昭 、 市村 敏明
- ・大会委員長 千葉 雅司
- ・大会副委員長 中嶋 良昭 、 市村 孝一
- ・大会委員 林 恵 、 鍋谷 英利 、 中村 健治 、 縄手 博和 、 田畑 勝紀

【競技役員】

- 運営委員長 鍋 谷 英 利
- 運 営 委 員 2種指導者、3種指導者

【大会規定】

1. 主 旨

敦賀市のスポーツ振興を図り、冬場の運動不足を解消すると共に室内におけるサッカー技術の向上を目指し、広く市民に理解を得ることを目的とする。

2. 参加費・参加資格

参加費はなし。敦賀市サッカー協会に加盟登録された2種、3種のチームとする。

3. 登録人数

1チームの選手登録は、6～9名とする。

4. その他

- ①選手の二重登録は認めない。
- ②試合中に選手が負傷した場合、大会本部にて負傷者の応急手当を行うが、その後は、チームまたは保護者の責任で対応すること。
- ③シューズは、体育館用であれば使用可能とするが、裏面が黒、濃灰色のものは、使用禁止とする。

【大会日程】

- 1. 開 催 日：令和2年2月8日（土）
- 2. 受 付：8時00分
- 3. 試 合 開 始：9時00分
- 4. 表 彰 式：試合終了後

【競技規則】

平成31年度日本サッカー協会フットサル競技規則に準ずる。

但し、一部特別規則を設ける。

1. 競技者の数

- ①1チーム5人で、1人はGKとする。
- ②競技開始時、1チームは5人いなければならない。
- ③交代要員は最大4人とする。
なお、退場等により1チーム3人未満となった場合、競技は放棄される。
- ④試合中、GKも含め交代ゾーンから自由に交代できる。
但し、GKの交代はアウトオブプレー時とする。また、プレー中の選手がピッチを完全に出してから交代選手が入ること。

2. 試合時間

- ①10分1本とする。（参加チーム数によって変更あり）
- ②試合開始及び終了の合図は、本部から発信するブザーとする。

- ③ボールがアウトオブプレーになっても時計は止めない。
- ④事故等により試合が中断した場合、本部の判断により試合時間を延長することもある。

3. タイムアウト

- ①タイムアウトは適用しない。

4. 試合開始

- ①本部から試合開始のブザーが発信された後、速やかにボールを前方にキックすることで、試合が開始される。
- ②キックオフからの直接ゴールは認めない。また、その行為も認めない。

5. キックイン（サッカーのスローインに代わるもの）

- ①タッチラインをボールが完全に超えたとき、ボールに最後に触れた競技者と反対側の競技者によるキックインにて試合を再開する。
- ②キックインを行う際は、ボールをタッチライン上に静止させること。
- ③相手競技者は、ボールより5m以上離れなければならない。
- ④キックインは、4秒以内に行わなければならない。4秒を超えた場合は、その地点から相手チームのキックインとなる。
- ⑤キックインしたボールがピッチ内に入らなかった場合、その地点から相手チームのキックインとなる。

6. ゴールクリアランス

- ①ゴールラインをボールが完全に超えたとき、ボールに最後に触れた競技者が攻撃側である場合は、ゴールクリアランス（GKスロー）によりプレーを再開する。
- ②GKがキャッチした場合を除くゴールクリアランスは、ペナルティエリアからボールが出た場合にインプレーとなる。
- ③ゴールクリアランスは、直接ハーフウェーラインを超えることはできない。ハーフウェーラインを超えた場合は、ハーフウェーライン上から、相手チームの間接フリーキックでプレーを再開する。
- ④ゴールクリアランスは、4秒以内に行わなければならない。4秒を超えた場合は、その地点から最も近いペナルティエリアライン上から相手チームの間接フリーキックとなる。

7. コーナーキック

- ①ゴールラインをボールが完全に超えたとき、ボールに最後に触れた競技者が守備側である場合は、超えた側のコーナーエリアから攻撃側のコーナーキックによりプレーを再開する。
- ②相手競技者は、ボールより5m以上離れなければならない。
- ③コーナーキックは、4秒以内に行わなければならない。4秒を超えた場合は、相手チームにコーナーエリアからの間接フリーキックが与えられる。

8. ペナルティキック

- ①ペナルティエリア内で、守備側の競技者が反則を犯した場合、攻撃側にペナルティキックが与えられる。
- ②ペナルティキックを行う場合、キッカーとGK以外の全ての競技者は、ピッチ内にいてボールより後方で、かつボールから5m以上離れなければならない。
- ③GKはインプレー（ボールが蹴られる）になるまでゴールライン上にとどまること。

9. 反則

- ①スライディングタックルは禁止（スライディングそのものは反則ではない）。
但し、自陣のペナルティエリア内で行うGKのスライディングタックルは、不用意に無謀にあるいは過剰な力で行わなければ認められる。

②GKが、味方プレイヤーからのパスをペナルティエリア内において手で扱った場合は、間接フリーキックとなる。

この場合の間接フリーキックは、GKが手で触った場所に最も近いペナルティエリアのライン上より行う。

③競技者が退場（イエローカード2枚またはレッドカード1枚）を命じられた場合、そのチームは、競技者を補充することはできない。相手チームに得点が入った時点で補充することができる。

④退場を命じられた選手は、ピッチ（ベンチも含む）から離れ、観客席に戻らなければならない。また、次の試合のみ出場ができない。

10. その他

①オフサイドはない。

②ボールが天井に当たった場合、競技は停止され、当たった場所に最も近いタッチラインからボールを当てたチームの相手チームによるキックインか、ゴールラインからのゴールクリアランスでプレーを再開する。

③反則の累積は行わない。このため、反則の累積による第2ペナルティキックも採用しない。

④審判に対する不服申し立ては一切認めない。

⑤各チームは、試合開始5分前までに所定の場所に集合すること。

⑥組み合わせ及び試合のタイムスケジュールは主催者側で決定する。この組み合わせ、タイムスケジュールに対してのクレームは一切受け付けない。

【 競 技 方 法 】

《予選リーグ》

①参加チームを5グループに分け、各グループ総当りによる予選リーグを行う。

②リーグ戦の順位は、勝ち点（勝ち：3点、分け：1点、負け：0点）により決定するが、同一ブロック内で勝ち点と同じとなった場合は、得失点差、対戦結果、総得点、PK（1人目からのVゴール方式）の順で決定する。

《決勝リーグ、交流戦》

①各グループ1位及び2位の4チームにて決勝リーグを行う。

②各グループ3位以下の12チームは交流戦を行う。

③リーグ戦の順位は、勝ち点（勝ち：3点、分け：1点、負け：0点）により決定するが、同一グループ内で勝ち点と同じとなった場合は、得失点差、対戦結果、総得点、PK（1人目からのVゴール方式）の順で決定する。

（上記競技方法は参加チーム数によって変更する可能性がある）

【 表 彰 】

1. 優 勝 : 賞状、トロフィー
2. 準 優 勝 : 賞状、トロフィー
3. 3 位 : 賞状

【 そ の 他 】

1. 所定の駐車場以外の場所に駐車しないこと。周辺住民から苦情が出た場合は、大会運営に支障を来たすため、場合によっては警察へ通報し、強制移動させることもある。
2. 発生したごみは、各チームが責任もって持ち帰ること。
3. 所定の場所以外での飲食及び喫煙は行わないこと。

4. 観客席ではボールを使用しないこと。チームの責任者は、責任もって監督すること。